

YAMADA

保証書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

| | |
|---|-----------------|
| フードプロセッサー | 品番 YM-F50F1 |
| ★お客様お名前 様 | |
| ★ご住所 〒 | ★電話番号 () - |
| 保証期間 ★お買上げ日 年 月 日から 本体……………1年間 (ただし、消耗部品を除く) | ★取扱販売店名、住所、電話番号 |

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ロ. お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - ホ. 本書の提示がない場合。
 - ヘ. 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ト. 消耗部品の交換 } 等
仕様変更
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「ハーブリラックスお客様相談室」にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

| |
|-------|
| ●修理メモ |
|-------|

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダ電機「ハーブリラックスお客様相談室」にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、14 ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

株式会社ヤマダ電機

【ハーブリラックスお客様相談室】TEL 0120-258-260(無料)

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号

受付時間：午前10時～午後9時（元日のみ休日）

Y11

取扱説明書

フードプロセッサー

品番 YM-F50F1

YAMADA

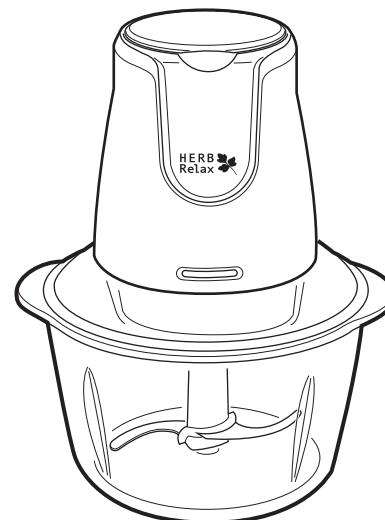
一般家庭用
(業務用としては使用しないでください)

保証書付 (裏表紙)

お買上げまことにありがとうございます。

- この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みの上正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
特に1～4ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.

HERB Relax 



もくじ



ページ

| | |
|------------|-------|
| 安全上のご注意 | 1～4 |
| 各部のなまえ | 5 |
| 使いかた | 6～8 |
| レシピ | 9～10 |
| お手入れのしかた | 11～12 |
| 収納のしかた | 12 |
| 故障かな?と思ったら | 13 |
| 愛情点検 | 13 |
| 仕様 | 14 |
| 修理サービスについて | 14 |
| 保証書 | 裏表紙 |

取扱説明書(保証書付)・本体には商品の色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の()内の記号が色記号です。

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
その表示と意味は、次のようになっています。









●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

| | |
|---|---------------------------------|
|  警告 | 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。 |
|  注意 | 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。 |












●本文中の絵表示の意味です。

| | | | | |
|---|-------------------------|--|---|--|
|  禁止 | ○は、してはいけません。「禁止」の内容です。 |  一般的な禁止 |  接触禁止 |  分解禁止 |
|  強制 | ●は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 |  水ぬれ禁止 |  ぬれ手禁止 |  電源プラグを抜く |

警告

| | |
|--|---|
|  電源コードや電源プラグは乱暴に取り扱わない 電源コード、または電源プラグを傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物をのせる、束ねて使用する、などをしない。 感電・ショートによる発火の原因となります。修理はお買上げの販売店、または株式会社ヤマダ電機「ハープリラックスお客様相談室」にご相談ください。 |  ボトルの中に手・スプーン・はし・ブラシなどの異物を入れて運転しない ボトルの中に材料以外の異物を入れない 故障・けがの原因となります。 |
|  カッターや本体の回転部を露出したままで使わない けがの原因となります。 |  子供や不慣れなただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない やけど・感電・けがの原因となります。 |
|  本製品専用の部品以外使用しない けが・故障の原因となります。 |  コンセントへのさし込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります。 |
|  本体のすき間や穴にピンや針金などの金属物など、異物を入れない 感電・けが・故障・破損の原因となります。 |  運転中やカッターが完全に停止するまでは、絶対に本体、アタッチメントを取り外さない けが・故障の原因となります。 |












警告

| | |
|--|---|
|  接触禁止 カッターは鋭利なため、直接手を触れない カッターの取り外し、取り付け、お手入れ、収納は特にご注意ください。 |  接触禁止 電源プラグをコンセントにさし込んだ状態でカッターに手・ヘラ・スプーンなどで触れない けがの原因となります。 |
|  分解禁止 絶対に改造、分解をしない 改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店、または株式会社ヤマダ電機「ハープリラックスお客様相談室」にご相談ください。 |  水ぬれ禁止 本体や接続部を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因となります。 |
|  電源は、交流100Vのコンセントを単独で使う 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。 |  ぬれ手禁止 ぬれた手で電源プラグを抜きさししない ショート・感電・けがの原因となります。 |
|  電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込む さし込みが不完全ですと、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。 |  異常・故障時には、ただちに使用を中止する 使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。 ＜異常・故障例＞ ●本体が変形したり、異常に熱い。 ●電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。 ●電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ●電源プラグや電源コードを動かすと運転したり、しなかったりする。 ●異常なおいや音、振動がする。 ●ビリビリと電気を感じる。 ※お買上げの販売店、または株式会社ヤマダ電機「ハープリラックスお客様相談室」に点検、修理を依頼してください。 |
|  電源プラグは清潔にする 電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。 発煙・発火・火災の原因となります。 |  プラグを抜く 使用後、ボトルの取り付け・取り外し、お手入れ、持ち運びの際は、必ず、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く 不意に動作してけがをしたり、感電・発火・火災・故障の原因となります。 |
|  包装用のポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因となります。 |  本製品は必ず屋内で使用する 本製品は屋内用です。屋外でお使いになると故障・破損・けがの原因となります。 |
|  電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く 感電・ショート・発火・火災の原因となります。 | |














安全上のご注意

必ずお守りください

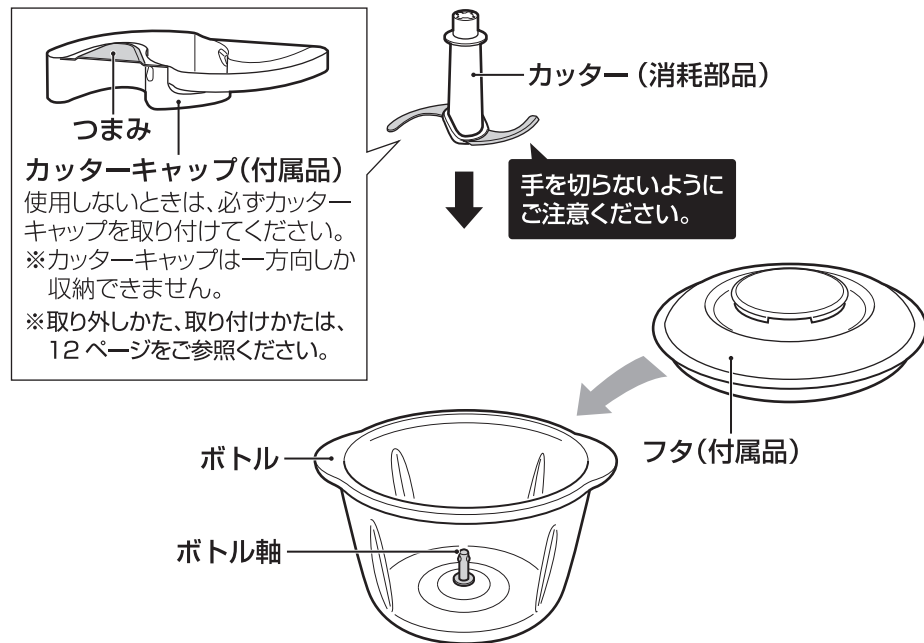
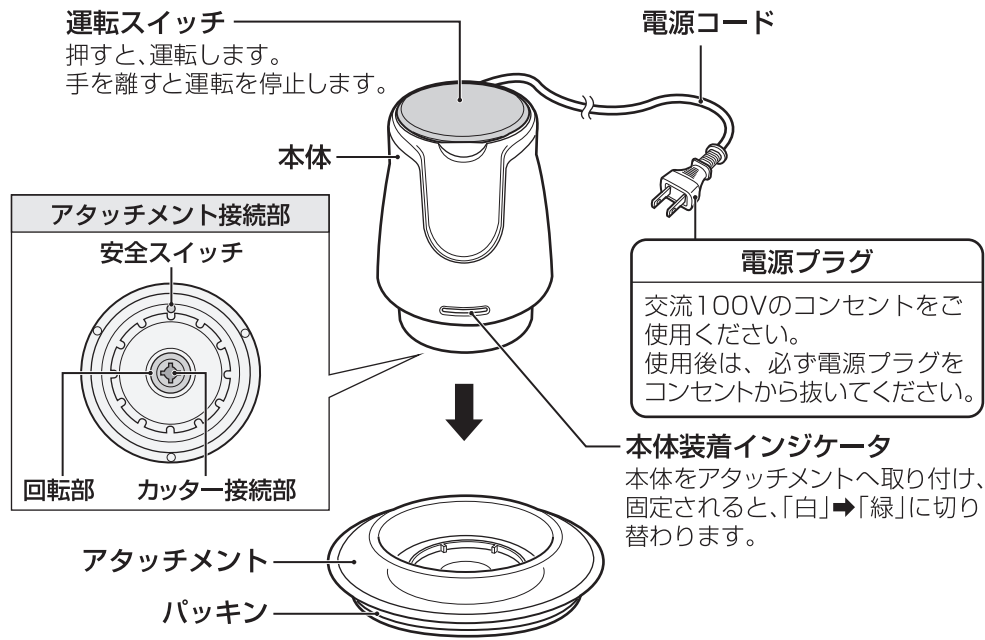
⚠ 注意

| | |
|--|--|
|  ボトルを冷凍庫に入れない けが・故障の原因となります。 |  次のような場所では使わない <ul style="list-style-type: none"> ● 不安定なところ ● 雨や水しぶきのかかる場所 ● 火気の近く |
|  変形・破損など異常があるときは使用しない 感電・けが・故障の原因となります。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものがあるところ ● 油・油煙が発生する場所 ● 油や薬品を使う場所 ● 壁や家具の近く |
|  使用中は、本体から離れない 必ず、本体のそばにいて様子を見ながら使用してください。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 直射日光など、強い紫外線のあたる場所 ● カーペット・ビニール袋・紙・おぼんなどの上 ● 人工大理石のテーブルなどの上 |
|  調理以外に使用しない 故障・破損の原因となります。 | |
|  運転中に移動させない 転倒により、けが・故障の原因となります。 |  本製品は一般家庭用です。絶対に業務用には使用しない 本製品に無理な負担がかかり、火災・事故・故障の原因となります。 |
|  材料は合計400g以上入れて使用しない 破損して、けがの原因となります。 |  倒したり、落としたり、ぶつかけたり、強い衝撃をあたえない けが・事故・感電・発火・故障の原因となります。 |
|  カラ運転しない 故障・破損の原因となります。 |  40℃以上の熱い材料を使用しない 材料のふきこぼれや飛び散りによりやけど・けがの原因となります。 |

⚠ 注意

| | |
|--|---|
|  ボトルは降下、上昇の温度差が40℃以上の急激な冷却や加熱をしない 破損して、けがの原因となります。 |  冷たい材料や氷・冷凍された材料を調理しない また、粘り気の強い材料にも使用しない カッターの刃が欠けたり、故障の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> ● 冷たい材料 干物・干し椎茸などの乾物・冷たいナッツ類・コーヒー豆・穀類・果物の種など ● 粘り気の強い材料 いも類(山芋・里芋・つくね芋など)・納豆・ゴマのみ・飴など |
|  カッターの本体接続部に材料・水分が付着している状態で使用しない 故障の原因となります。 |  電源プラグを抜きさしするときは、運転を停止し、カッターの回転が完全に停止してから行う けがの原因となります。 |
|  アタッチメント、ボトル、フタを電子レンジ、オーブン、食器乾燥機など高温になるものに入れない けが・故障の原因となります。 |  使用後は必ずお手入れをする 雑菌が繁殖したり、材料がかたまって使えなくなるおそれがあります。 |
|  定格時間を守って運転する 30秒運転したら、2分以上休ませる 故障の原因となります。 |  調理した材料や、カッターに詰まった材料は、ヘラなどで取り出す 手を触れるとけがの原因となります。 |
|  移動するときは、電源プラグを抜き、本体、アタッチメント、カッターを取り外し、分けて持つ 部品が外れて、けが・故障の原因となります。 |  カッターを取り外してから、材料を取り出す けがの原因となります。 |
|  電源コードが破損した場合には、危険が生じないようにするために、お買上げの販売店、または株式会社ヤマダ電機「ハープリックスお客様相談室」にご相談ください。 |  使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。  プラグを抜く |

各部のなまえ



使いかた

ご注意

- はじめてお使いになるときや長時間使用しなかったときは、本体以外の部品を「お手入れ (11ページ)」に従ってよく洗ってからお使いください。
- 調理するとき以外は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- カッターを取り扱うときは、刃の部分に直接手で触れないでください。
- 連続運転は定格時間以内 (定格時間30秒) にし、くり返し使用するときは2分以上間隔をあけてご使用ください。
- カッターを取り付けるときは、材料を入れる前に取り付けてください。取り外すときは、カッターを取り外してから、材料を取り出してください。
- ボトルはガラス製です。急激な冷却や加熱 (冷凍庫に入れる・熱湯をかけるなど) をしないでください。

準備する

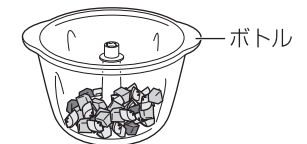
1 カッターをボトル軸に取り付ける

- カッター軸の上部を持って、確実にさし込んでください。
- ※カッターキャップは、必ず取り外してください。



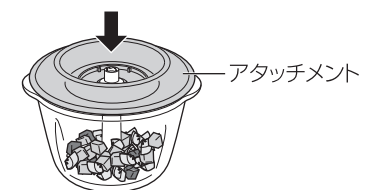
2 下ごしらえした材料をボトルに入れる (☞9ページ参照)

- 材料に皮や芯、へた、種がある場合は取り除いてください。
- 材料が熱い場合は、40℃以下に冷ましてください。
- 柔らかい材料は2~3cm角に切り、かたい材料は1cm角に切ります。
- 材料は合計400g以上入れないでください。材料の分量について、「レシピ ☞9ページ」をご参照ください。
- ※調理できない材料は入れないでください。(レシピ ☞9ページ参照)



3 アタッチメントをボトルに取り付ける

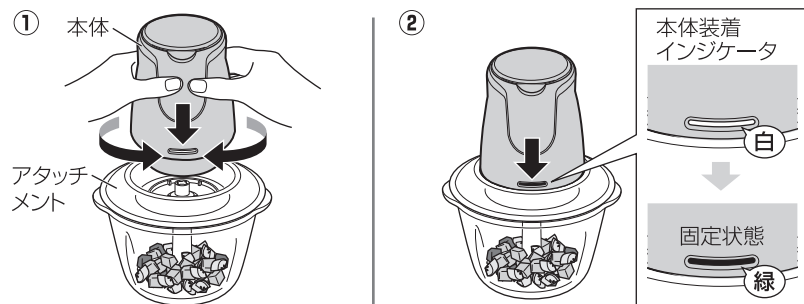
- ぐらつきがないように、確実に取り付けてください。



使いかた

4 本体をアタッチメントに取り付ける

- ① 本体を軽く右、または左へ回し固定位置に取り付けてください。
- ② 本体装着インジケータが「緑」に切り替わっていることを確認してください。



5 電源プラグをコンセントの奥まで確実にさし込む

材料を調理する

連続使用時間：30秒間

6 ボトルを手でしっかり支えた状態で、運転スイッチを押す

- カッターが回転し、運転を開始します。
 - 運転スイッチから手を離すと、運転を停止します。
 - 30秒以上の連続運転はしないでください。
(合計30秒間連続で使用したら、2分以上休ませる)
- ※ボトルは安定したところに置いてください。
※運転中に本体を持ち上げないでください。
※材料が引っかかった場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、ヘラなどで取り除いてください。



ワンポイント

※調理のしかた

連続運転

- 運転スイッチを押し続け、運転します。
- ※30秒以上の連続運転はしないでください。



間欠運転

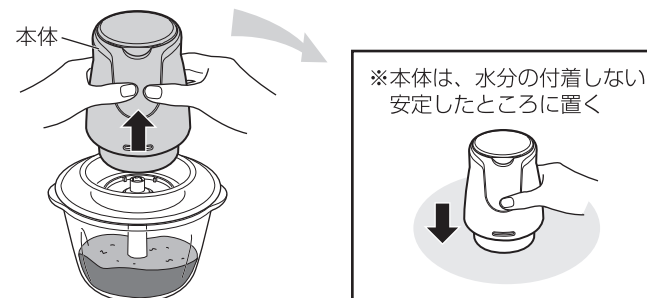
- 運転スイッチを1回1秒程度の間隔で、「押す」→「離す」…とくり返します。



でき上がり

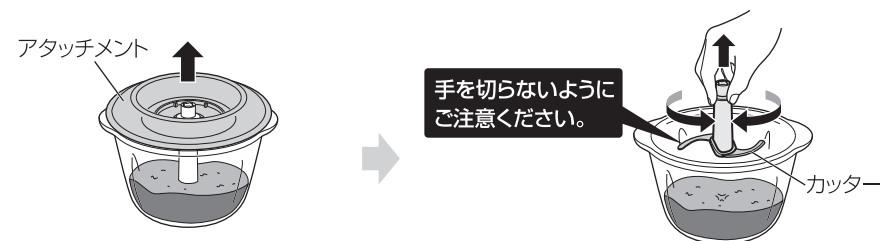
7 でき上がったら電源プラグをコンセントから抜き、本体を取り外す

- 必ず、カッターの回転が完全に停止してから電源プラグを抜いてください。
- ※取り外した本体は、不安定なところに置かないでください。



8 アタッチメント／カッターを取り外す

- カッターを取り外すときは、カッター軸の上部を持って軽く右、または左に回しながら上に引き抜いてください。
- ※必ず、カッターを取り外してから材料を取り出してください。



9 ヘラなどで材料をボトルから取り出す

- 使用後はお手入れを行ってください。(P.11ページ参照)
- 材料が残った場合は、別容器に移して保管してください。

レシピ

ご注意

- ボトル、アタッチメント、カッターの取り付け、取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 連続運転を行う場合、定格時間（合計30秒間連続）を超えて運転しないでください。くり返し使用する場合は2分以上間隔をあけて運転してください。
- 材料は合計400g以上入れないでください。
- 材料がアタッチメントに貼りついた場合は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、アタッチメントを開けて材料を取り除いたあと、再度運転してください。



調理できない材料

お知らせ

- 食材でないもの
 - 小麦粉などの粉類
 - 40℃以上の材料
 - 粘り気の強い材料
 - 食材でないもの
 - 小麦粉などの粉類
 - 40℃以上の材料
 - 粘り気の強い材料
- 干物・干し椎茸などの乾物・氷・冷凍された材料・かたいナッツ類・コーヒード・穀類・果物の種など
- いも類（山芋・里芋・つくね芋など）納豆・ゴマのみ・飴など

調理例

※表記の分量は、最小～最大のおおよその目安です。
※ボトルの内側などに切れていない材料がついてしまったときは、ヘラなどで落としながら調理してください。

運転時間について

- 連続** 運転スイッチを押し続け、連続運転してください。
- 間欠** 運転→停止を1秒間隔でくり返してください。

肉（牛肉・豚肉・鶏肉）

分量目安 **100～400g**

- 骨やすじを取り除き2cm角以下に切る。（鶏肉は皮も取り除いてください。）
- 肉の脂身が多いと、カッターの切れ味が落ちます。

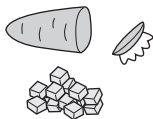
連続 ※約5～20秒間、連続運転

にんじん

分量目安 **70～400g**

- 皮をむいて2cm角以下に切る。

間欠 ※約5～20秒間、間欠運転

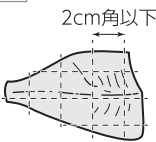


魚（白身魚・いわし・えび）

分量目安 **100～350g**

- 骨・わた・皮・頭を取り除き2cm角以下に切る。

連続 ※約10～30秒間、連続運転

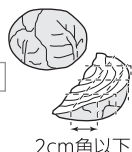


キャベツ

分量目安 **50～150g**

- 芯を取り除き2cm角以下に切る。

間欠 ※約5～20秒間、間欠運転

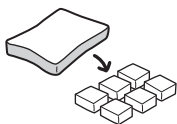


パン粉

- 耳をとって6～8つにちぎる。（焼いたパン、冷凍や乾燥したパンは使わないでください。）

分量目安 **食パン8枚切り 1/2枚～3枚**

連続 ※約5～20秒間、連続運転



メニュー

※材料の分量は目安です。お好みの分量でお作りください。
※ボトルの内側などに切れていない材料がついてしまったときは、ヘラなどで落としながら調理してください。

イワシのつみれ（分量：350g）

- イワシ …… 正味300g
- 卵白 …… 小さじ1
- 長芋すりおろし …… 50g
- 生姜汁 …… 小さじ1
- ◆ イワシを3枚におろし、骨・わた・皮・頭を取り除く。
- ◆ 2cmに切りボトルに入れて間欠で運転する。（約5回、粗みじんの状態）
- ◆ 残りの材料を入れ均等に混ざるまで間欠で運転する。
- ◆ スプーンで形を作り、スープに入れて火を通す。

レンコンつくね（分量：370g）

- 鶏胸肉 …… 300g
- レンコン …… 70g
- 卵黄 …… 大さじ1
- 生姜汁 …… 大さじ1
- 醤油 …… 小さじ1
- ◆ 鶏胸肉のすじ・皮を取り2cm角に切る。
- ◆ レンコンは皮をむいて2cm角に切る。
- ◆ 材料をボトルに入れて間欠で運転する。（約10～15回）
- ◆ 形を整え、フライパンに油をなじませ、じっくりと火が通るまで焼く。
- ◆ 鍋に「たれの材料」を入れ火にかける。（水溶き片栗粉を除く）
- ◆ 水溶き片栗粉を入れトロミをつけて、つくねにかける。

たれの材料

- 醤油・みりん …… 各大さじ4
- 酒 …… 大さじ2
- 砂糖 …… 20～25g
- 水溶き片栗粉（トロミ用） …… 適量

スコーン（分量：6cm型で約10個）

- 薄力粉 …… 150g
- ベーキングパウダー …… 5g
- 砂糖 …… 20g
- バター …… 50g
- 牛乳 …… 80cc
- 強力粉（打ち粉として） …… 適量

◆ 下準備として、バターを1cm角に切る。バター・牛乳をよく冷やしておく。オーブンを200℃へ予熱する◆ 薄力粉・ベーキングパウダー・砂糖をボトルに入れ間欠で運転する。（約5回ボトルの内側についた粉をヘラなどで落とす）◆ バターを入れ、バターの塊がなくなるまで間欠で運転する。（米粒程度のかたまりが残るくらい）◆ カッターを取外し、牛乳を加えながらへらで切るように混ぜる。（練らないようにする）◆ 打ち粉をした台に生地を取り出し、生地の上にも少量の打ち粉をして、麺棒で縦長に伸ばす。◆ 伸ばした生地を三つ折にたたみ、再度麺棒で縦長に伸ばす。（練らないように、2～3回くり返す）◆ 8mmくらいの厚さに伸ばし、型で抜く。（余った生地は、折りたたみ麺棒で伸ばす手順をくり返し型で抜く）◆ 予熱したオーブンで、15～20分焼く。

お手入れのしかた

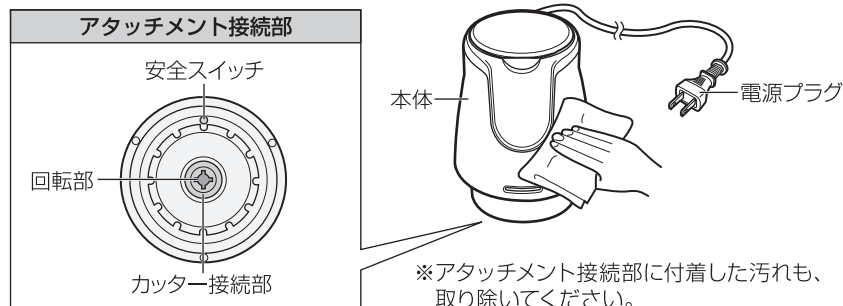
ご注意

- お手入れを行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- お手入れの際は、金属製のたわしや、シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などを使わないでください。
- 使用後は早めにお手入れしてください。付着物が乾燥すると、汚れが落ちにくくなります。
- カッターの刃の部分には直接手で触れないでください。
- 食器洗い乾燥機、食器乾燥器は使用しないでください。
- 本体に水をかけたり、水につけたりしないでください。感電・故障の原因となります。
- 40℃以上のお湯は使用しないでください。

本体・電源プラグ

水洗いできません

- 本体は、水をふくませた柔らかい布をかたくしぼって拭いてから、乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、水でうすめた台所用中性洗剤をふくませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭き取ってください。※シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。
- 電源プラグは、乾いた布でホコリ、汚れを拭き取ってください。ホコリがたまると、火災の原因となることがあります。



アタッチメント・ボトル・フタ・カッターキャップ

水洗いできます

- 柔らかいスポンジで水洗いしてください。
- 汚れが落ちにくい場合は台所用中性洗剤を使って、スポンジまたはブラシなどを使用して汚れを落とすあと、よく乾かしてください。



アタッチメント



ボトル



フタ



カッターキャップ

カッター

水洗いできます

- カッターの刃の部分には直接触れないでください。
- 水、またはぬるま湯を流しながらブラシなどで汚れを落としてください。
- 汚れが落ちにくい場合は、台所用中性洗剤を使ってブラシなどで洗い流してください。※手を切らないようにご注意ください。
- お手入れのあとは、よく乾かしてから、付属のカッターキャップを取り付けてください。※下記の「収納のしかた」をご参照ください。



水滴をきる

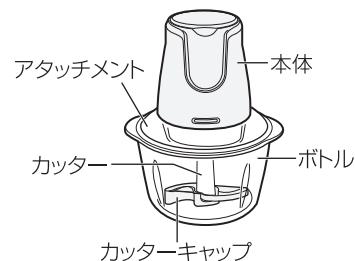
お手入れのあとは、よく乾かしてください。水滴が付いたまま保管すると、雑菌が繁殖することがあります。

収納のしかた

ご注意

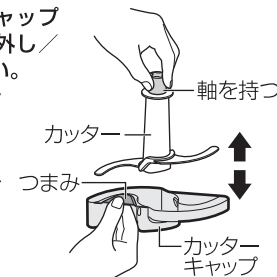
- カッターは、必ずカッターキャップを取り付けてください。
- カッターの刃の部分には直接手で触れないでください。
- お手入れを行ったあとは、よく乾かしてから保管してください。

- カッターキャップをカッターに取り付けてください。
- ボトルに、カッター/アタッチメント/本体を取り付けてください。



カッターキャップの取り外しかた/取り付けかた

- カッター軸とカッターキャップのつまみを持って、取り外し/取り付けを行ってください。※カッターキャップは、一方向しか収納できません。※カッターキャップのつまみは凸状の段がある部分です。つまみを持って、正しくお使いください。右図をご参照ください。



カッターは鋭利なため、直接手を触れない。カッターの取り外し、取り付け、お手入れ、収納は特にご注意ください。


故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお調べください。

| 症状 | 確認してください | 処置の方法 参照ページ |
|--|-------------------------|--|
| 運転スイッチを押しても運転しない | 電源プラグが抜けていませんか? | 電源プラグをコンセントに確実にさし込んでください。 7 |
| 本体が異常に熱くなる | 定格時間を超過して使用していませんか? | 連続運転は定格時間以内(定格時間30秒)にし、くり返し使うときは2分以上間隔をあけてください。 7 9 14 |
| | 調理できない材料が入っていませんか? | 調理できない材料を全て取り出してください。 6, 9 |
| 運転中に止まる カッターが回らない 回転が遅い 振動が大きい 音が大きい | 本体、カッターは正しく取り付けられていますか? | 本体、カッターを確実に取り付けてください。 6, 7 |
| | 材料を入れすぎていませんか? | 材料を減らしてください。 6, 9 |
| | 材料が大きすぎませんか? | 材料を小さくしてください。 6, 9 |
| | 材料が引っかかっていますか? | ボトル、カッターについた材料を取り除いてください。 6, 7 |
| 材料がうまく混ざらない 材料がもれる・飛び散る | 調理できない材料が入っていませんか? | 調理できない材料を全て取り出してください。 6, 9 |
| | 本体、カッターは正しく取り付けられていますか? | 本体、カッターを確実に取り付けてください。 6, 7 |
| | 材料を入れすぎていませんか? | 材料を減らしてください。 6, 9 |
| | 材料が大きすぎませんか? | 材料を小さくしてください。 6, 9 |

※ボトル、カッターに引っかかっている材料などを取り除くときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体・アタッチメントを取り外して行う。

点検後、異常がある場合は、お客様ご自身で修理せずにお買上げの販売店、または株式会社ヤマダ電機「ハープリラックスお客様相談室」にご相談ください。詳しくは、14ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

| 愛情点検 | | 長年ご使用のフードプロセッサの点検を! | |
|---|--------------|--|--|
|  | こんな症状はありませんか | <ul style="list-style-type: none"> ●本体が変形したり、異常に熱い。 ●電源コードや電源プラグが変形、変色、損傷している。 ●電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ●電源プラグや電源コードを動かすと運転したり、しなかったりする。 ●異常なおいや音、振動がする。 ●ビリビリと電気を感じる。 | <p>こんなときは</p> <p>使用を中止してください。</p> <p>故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ずお買上げの店に点検をご相談ください。</p> |
| | こんなことはありませんか | 電源プラグにホコリやゴミがたまっている。 | ホコリやゴミを取り除いてください。 |

仕様

| | | | |
|----------|----------------------------|----------|--------|
| 品番 | YM-F50F1 | | |
| 定格電圧 | 100V 50/60Hz | 消費電力 | 300 W |
| 定格時間 | 30秒 (30秒運転後は2分停止) | | |
| 1分当たり回転数 | 約 4600回/分 | 電源コードの長さ | 約 1.0m |
| 質量 | 約 1.7kg | 最大容量 | 400g |
| 外形寸法 | 幅 161 × 奥行 187 × 高さ 229 mm | | |
| 付属品 | フタ、カッターキャップ | | |

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

修理サービスについて

(1) 保証書

- この製品には、保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。保証期間は、お買上げ日より本体1年間です。

(2) 修理を依頼される時

- 保証期間中は内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください。）お買上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときはお買上げの販売店または株式会社ヤマダ電機「ハープリラックスお客様相談室」にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3) 補修性能部品の保有期間

このフードプロセッサの補修性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造切後6年です。

(4) ご使用中ふだと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5) 修理サービスについてご不明な場合

- 修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダ電機「ハープリラックスお客様相談室」にお問い合わせください。
- ご転居やご贈答品等でお困りの場合は、株式会社ヤマダ電機「ハープリラックスお客様相談室」にお問い合わせください。

株式会社ヤマダ電機

お客様相談室や保証書におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- ハープリラックスお客様相談室でお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報は、商品、サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために株式会社ヤマダ電機および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。その場合も当社と同等の個人情報保護を行わせまますので、ご了承ください。